

2024年3月期第2四半期 決算説明会

2023年11月24日



株式会社ユアテック
(東証プライム市場：1934)

- 2024年3月期第2四半期の決算概要について説明いたします。

01	2024年3月期第2四半期 決算概要	—————	P. 2 – 14
02	業績・配当金の予想および推移	—————	P. 15 – 23
03	中期経営計画の進捗状況	—————	P. 24 – 37
04	ご参考	—————	P. 38 – 42

01 2024年3月期第2四半期 決算概要

(1) 事業環境の振り返り

建設市場の動向

- 公共投資は堅調に推移、
民間設備投資は企業収益の改善基調を背景に持ち直しの動き
- 人件費・資材費の高騰に伴う建設コストの上昇
- 東北各地で大型風力発電所の建設計画が進むとともに競争も激化

電力市場の動向

- カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの導入拡大に伴う基幹送電網の増強・整備工事が本格化
- 電力の安定供給およびレジリエンス強化に向けた送配電設備の計画的な更新工事などが底堅く推移
- 親会社である東北電力株式会社は、電気料金の見直しや燃料価格の低下に伴う燃料費調整制度のタイムラグ影響などにより大幅に収支改善

- 2024年3月期第2四半期の事業環境を振り返ります。
- 建設市場においては、公共投資は堅調に推移し、民間設備投資は企業収益の改善基調を背景に持ち直しの動きがみられました。
- 一方、建設コストは人件費・資材費の高騰に伴い上昇傾向が続いています。
- 東北地方においては、大型風力発電所の建設計画が進んでおり、受注競争は激化している状況にあります。
- 電力市場においては、カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの導入拡大に伴う基幹送電網の増強・整備工事が本格化し、電力の安定供給やレジリエンス強化に向けた送配電設備の計画的な更新工事などが底堅く推移しています。
- また、親会社である東北電力は、電気料金の見直しや燃料価格の低下に伴う燃料費調整制度のタイムラグ影響などにより大幅に収支が改善しました。

(2) 決算ハイライト[連結]



- 売上高は、屋内配線工事や空調管工事、配電線工事が増加したことなどにより**増収**
- 利益面は、屋内配線工事において比較的利益率の高い物件の完成が上期に多くみられたことなどにより各利益とも**増益**

(単位：百万円)	2023年3月期 2Q (累計)		2024年3月期 2Q (累計)		前年同期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
売上高	100,208	—	105,807	—	+5,599	+5.6%
売上総利益	10,849	10.8%	11,870	11.2%	+1,021	+9.4%
営業利益	834	0.8%	1,725	1.6%	+891	+106.8%
経常利益	1,837	1.8%	2,892	2.7%	+1,055	+57.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	864	0.9%	1,720	1.6%	+856	+99.1%

© 2023 Yurtec Corporation

4

- 連結決算のハイライトです。
- 売上高は、屋内配線工事や空調管工事、配電線工事が増加したことなどにより、前年同期と比較して増収となりました。
- 利益面につきましては、東北エリアの大型工場など屋内配線工事において比較的利益率の高い物件の完成が上期に多くみられたことなどにより各利益とも増益となりました。
- 売上高および各利益の増減要因につきましては、次頁よりご説明いたします。

(3) 売上高の増減要因[連結]

Yurtec

■ 屋内配線工事や空調管工事、配電線工事が増加したことなどにより売上高が**増加**

連結売上高 前年同期比の増減内訳

(単位：百万円)



© 2023 Yurtec Corporation

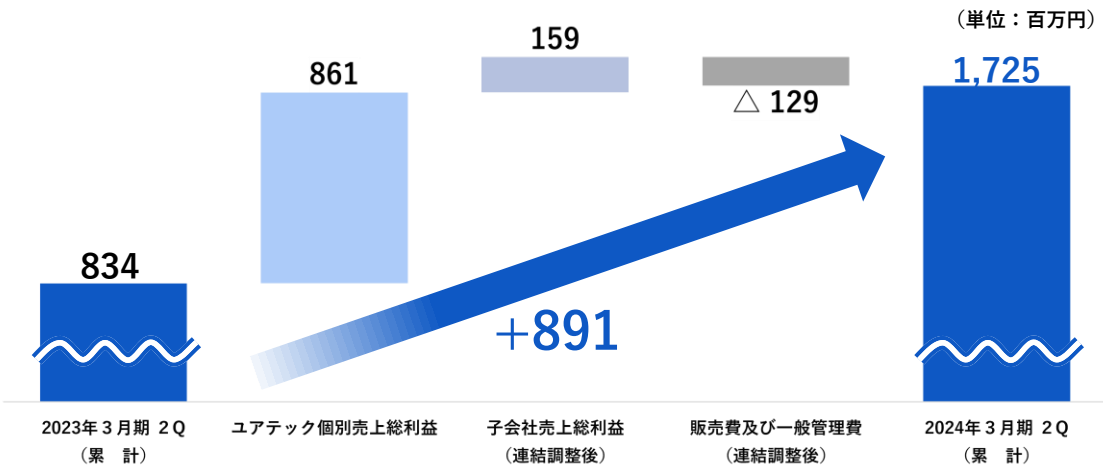
5

- 売上高の前年同期比の増減内訳です。
- 屋内配線工事や空調管工事において大型工場や病院などの工事が順調に進捗したこと、配電線工事においては高経年化設備の対策工事などが順調に進捗したことから、55億9千9百万円の増加となりました。

(4) 営業利益の増減要因[連結]

- ユアテック個別売上高の増加に伴い売上総利益が**増加**
- 人的投資に係る費用、DX推進に伴う費用が増加したことなどにより販売費及び一般管理費が増加

連結営業利益 前年同期比の増減内訳



© 2023 Yurtec Corporation

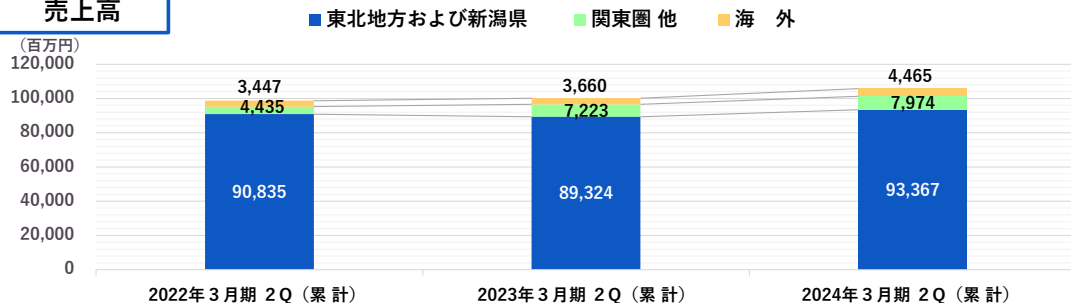
- 営業利益の前年同期比の増減内訳です。
- 主に個別売上総利益が増加したことにより、8億9千1百万円の増加となりました。

(5) 地域別売上高の推移[連結]

■ すべての地域で前年同期を上回る実績

- ⇒ 「東北地方および新潟県」は、大型工場・病院などの受注が好調、工事の順調な進捗
- ⇒ 「関東圏 他」は、大型商業施設・流通施設などの受注が好調、工事の順調な進捗
- ⇒ 「海外」は、ベトナム事業において、複合ビルなどの大型工事が順調に進捗

売上高



(単位：百万円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
東北地方および新潟県	90,835	89,324	93,367	+4,043	+4.5%
関東圏 他	4,435	7,223	7,974	+751	+10.4%
海外	3,447	3,660	4,465	+804	+22.0%
計	98,719	100,208	105,807	+5,599	+5.6%

(注) 関東圏 他：＝東京本部、北海道・大阪支社、ユアテック関東サービスの売上高合計（「東北地方および新潟県」を除く国内）
海外：＝当社施工、YURTEC VIETNAM CO.,LTD.、SIGMA ENGINEERING JSCの売上高合計

© 2023 Yurtec Corporation

- 地域別売上高の推移です。
- 「東北地方および新潟県」、「関東圏 他」、「海外」とも順調に進捗し、すべての地域で前年同期を上回る実績となりました。

(6) 決算ハイライト[個別]



- 売上高は、屋内配線工事や空調管工事、配電線工事が増加したことなどにより**増収**
- 利益面は、屋内配線工事において比較的利益率の高い物件の完成が上期に多くみられたことなどにより各利益とも**増益**
- 手持工事高は、**高水準**

(単位：百万円)	2023年3月期 2Q (累計)		2024年3月期 2Q (累計)		前年同期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
受注工事高	120,275	—	136,106	—	+15,830	+13.2%
売上高	92,720	—	97,628	—	+4,907	+5.3%
営業利益	938	1.0%	1,633	1.7%	+694	+74.0%
経常利益	2,199	2.4%	2,936	3.0%	+736	+33.5%
四半期純利益	1,444	1.6%	1,962	2.0%	+518	+35.9%
手持工事高	149,795	—	172,843	—	+23,048	+15.4%

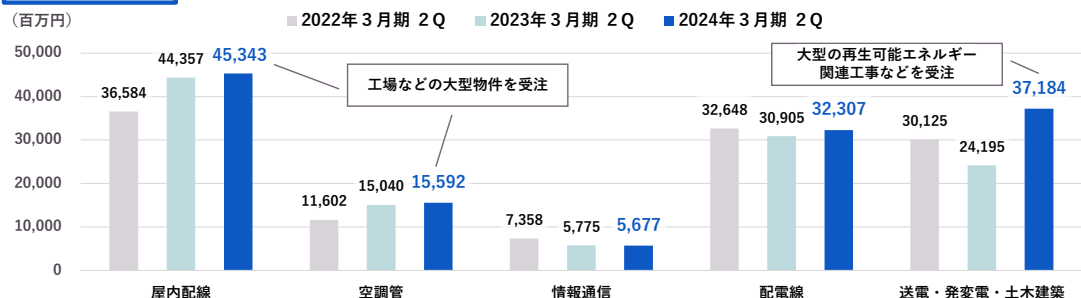
© 2023 Yurtec Corporation

8

- 個別決算のハイライトです。
- 増収増益の理由は、連結と同様ですので説明は割愛いたしますが、手持工事高についても高水準で推移しています。

(7) 工事別受注工事高の推移[個別]

受注工事高



(単位：百万円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
屋内配線	36,584	44,357	45,343	+986	+2.2%
空調管	11,602	15,040	15,592	+552	+3.7%
情報通信	7,358	5,775	5,677	△98	△1.7%
配電線	32,648	30,905	32,307	+1,402	+4.5%
送 電	10,700	9,164	9,750	+585	+6.4%
発電電	7,748	7,117	10,965	+3,847	+54.1%
土木建築	11,676	7,913	16,469	+8,555	+108.1%
計	118,319	120,275	136,106	+15,830	+13.2%

© 2023 Yurtec Corporation

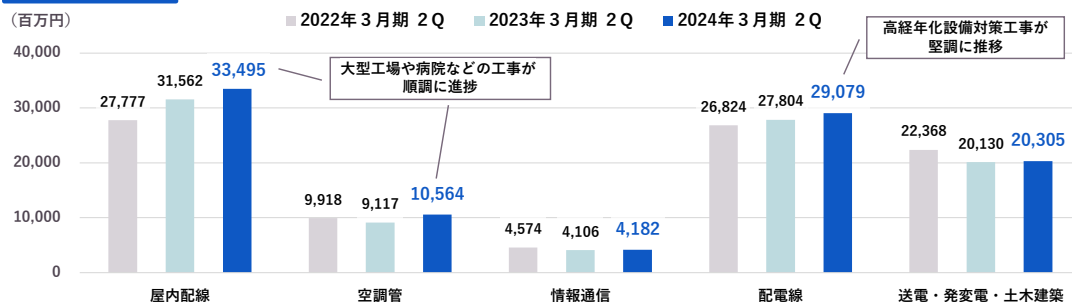
9

- 工事別受注工事高の推移です。
- 工場などの大型物件の受注により、屋内配線工事や空調管工事が増加しました。
- また、大型の再エネ関連工事などを受注したことにより、送電・発電電・土木建築工事が増加しました。

(8) 工事別売上高の推移[個別]

Yurtec

売上高



(単位：百万円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
屋内配線	27,777	31,562	33,495	+1,933	+6.1%
空調管	9,918	9,117	10,564	+1,447	+15.9%
情報通信	4,574	4,106	4,182	+76	+1.9%
配電線	26,824	27,804	29,079	+1,275	+4.6%
送電	6,857	6,924	7,786	+862	+12.5%
発電電	6,794	5,439	5,717	+277	+5.1%
土木建築	8,716	7,766	6,801	△964	△12.4%
計	91,464	92,720	97,628	+4,907	+5.3%

© 2023 Yurtec Corporation

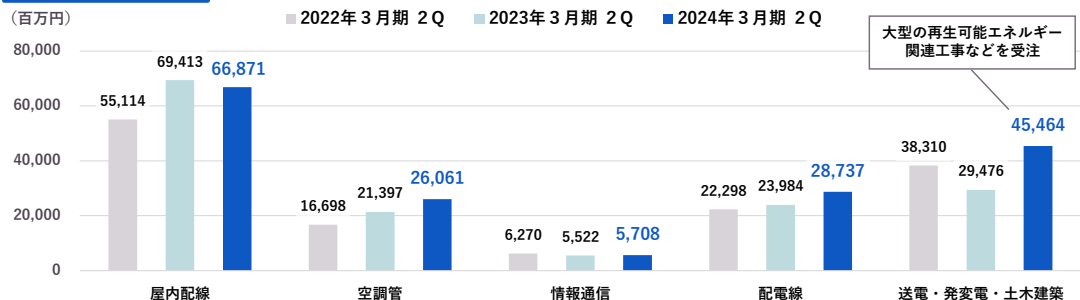
10

- 工事別売上高の推移です。
- 大型工場や病院などの工事が順調に進捗したことにより、屋内配線工事や空調管工事が増加しました。
- また、高経年化設備の対策工事が堅調に推移したことから、配電線工事が増加しました。

(9) 工事別手持工事高の推移[個別]

Yurtec

手持工事高



(単位：百万円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
屋内配線	55,114	69,413	66,871	△2,542	△3.7%
空調管	16,698	21,397	26,061	+4,663	+21.8%
情報通信	6,270	5,522	5,708	+186	+3.4%
配電線	22,298	23,984	28,737	+4,753	+19.8%
送電	10,001	8,490	11,355	+2,864	+33.7%
発電電	12,585	12,161	17,355	+5,193	+42.7%
土木建築	15,723	8,823	16,752	+7,929	+89.9%
計	138,691	149,795	172,843	+23,048	+15.4%

© 2023 Yurtec Corporation

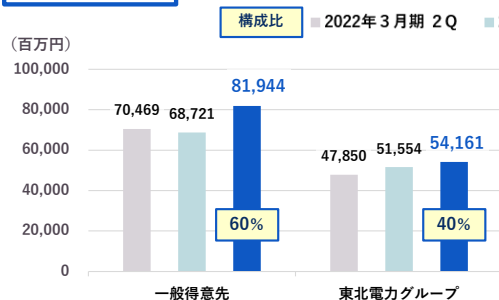
11

- 工事別手持工事高の推移です。
- 屋内配線工事において、前年同期に大型物件を受注していたことによる反動減がみられますが、全体としては高水準で推移しています。
- また、送電・発電電・土木建築工事の増加率が高いのは、大型の再エネ関連工事を受注したことなどによるものです。

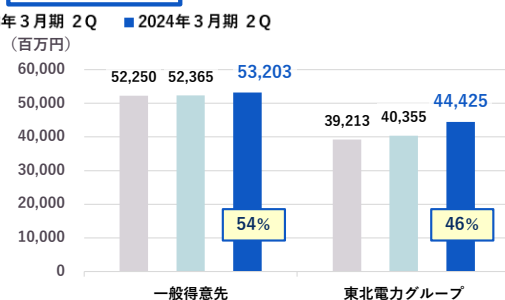
(10) 得意先別受注工事高・売上高の推移[個別]



受注工事高



売上高



【受注工事高】 (単位：百万円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
一般得意先	70,469	68,721	81,944	+13,223	+19.2%
東北電力グループ	47,850	51,554	54,161	+2,607	+5.1%
計	118,319	120,275	136,106	+15,830	+13.2%

【売上高】 (単位：百万円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同期比	
	実績 (累計)	実績 (累計)	実績 (累計)	増減額	増減率
一般得意先	52,250	52,365	53,203	+838	+1.6%
東北電力グループ	39,213	40,355	44,425	+4,069	+10.1%
計	91,464	92,720	97,628	+4,907	+5.3%

© 2023 Yurtec Corporation (注) 東北電力グループ：東北電力株、東北電力ネットワーク株

12

- 得意先別の受注工事高・売上高推移です。
- ここでは、「東北電力グループ向け工事」とそれ以外の民間企業や官公庁向けの「一般得意先工事」に分けて受注工事高・売上高を記載しています。
- 一般得意先、東北電力グループの受注工事高・売上高の構成比に大きな変動はありません。
- 一般得意先、東北電力グループの受注工事高・売上高とも増加しており、堅調に推移しています。

(11) 連結貸借対照表



(単位：百万円)

科 目	2023年 3 月期	2024年 3 月期 2 Q	増減額	科 目	2023年 3 月期	2024年 3 月期 2 Q	増減額
資産の部				負債の部			
流動資産	144,679	138,163	△6,515	流動負債	63,976	57,981	△5,995
現金預金	35,979	29,581	△6,397	支払手形・工事未払金等	34,702	29,228	△5,474
受取手形・完成工事未収入金等	77,778	69,549	△8,229	電子記録債務	12,129	15,243	+3,113
電子記録債権	11,048	8,154	△2,893	短期借入金	3,728	4,413	+685
未成工事支出金	1,070	2,837	+1,766	工事損失引当金	156	120	△35
その他	19,112	28,359	+9,247	役員賞与引当金	92	—	△92
貸倒引当金	△310	△318	△8	災害損失引当金	18	18	-
固定資産	76,721	78,397	+1,675	その他	13,148	8,956	△4,192
有形固定資産	46,605	47,981	+1,375	固定負債	22,936	22,641	△295
のれん	3,707	3,716	+8	純資産の部			
その他無形固定資産	3,342	3,309	△32	資本金	7,803	7,803	-
投資その他の資産	23,301	23,622	+320	資本剰余金	7,864	7,885	+20
貸倒引当金	△236	△232	+3	利益剰余金	118,713	119,431	+718
資産合計	221,400	216,561	△4,839	自己株式	△333	△299	+34
				その他有価証券評価差額金	230	460	+229
				土地再評価差額金	△2,186	△2,187	△0
				為替換算調整勘定	838	1,434	+596
				退職給付に係る調整累計額	1,502	1,351	△151
				非支配株主持分	55	58	+2
				負債純資産合計	221,400	216,561	△4,839

© 2023 Yurtec Corporation

13

- 連結貸借対照表です。
- 資産合計は2,165億円となり、前連結会計年度末に比べ48億 3 千 9 百万円減少しました。

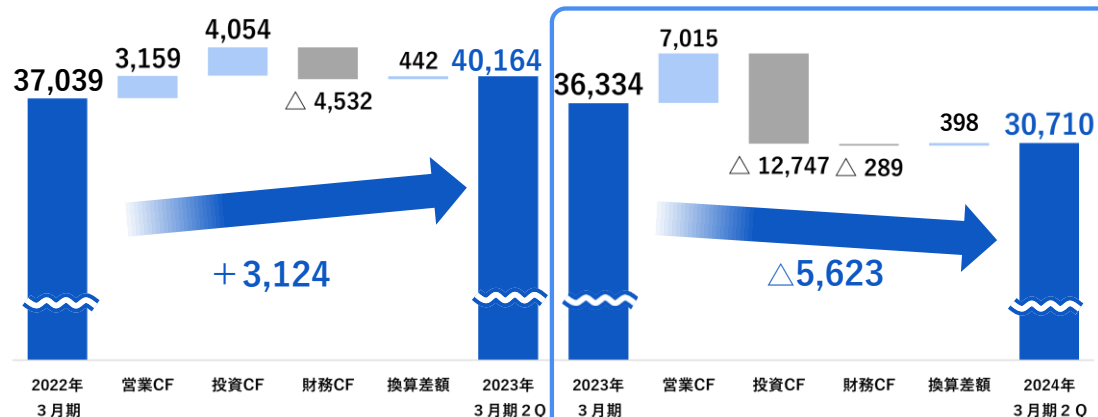
(12) 連結キャッシュ・フロー計算書

Yurtec

- 営業CFは、売上債権の減少による収入などにより、7,015百万円の資金が増加
- 投資CFは、グループファイナンスへの預け金の預入などにより、12,747百万円の資金が減少
- 財務CFは、配当金の支払などにより、289百万円の資金が減少

現金及び現金同等物 四半期末残高の推移

(単位：百万円)



© 2023 Yurtec Corporation

14

- 連結キャッシュ・フロー計算書です。
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少による収入などにより、70億1千5百万円の資金が増加しました。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、グループファイナンスへの預け金の預け入れなどにより、127億4千7百万円の資金が減少しました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、2億8千9百万円の資金が減少しました。
- 以上のことから、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は56億2千3百万円減少し、307億1千万円となりました。

02 業績・配当金の予想および推移

(1) 2024年3月期 通期業績予想



- 売上高は、中期経営計画に基づく諸施策に鋭意取り組み増収を目指す
- 利益面は、人的投資に係る費用、DX推進に伴う費用等を見込み減益予想

連 結	2023年3月期 実績		2024年3月期 予想		前期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
(単位：百万円)						
売上高	227,366	—	235,000	—	+7,633	+3.4%
営業利益	9,538	4.2%	9,200	3.9%	△338	△3.5%
経常利益	10,501	4.6%	9,600	4.1%	△901	△8.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,561	2.9%	6,300	2.7%	△261	△4.0%

個 別	2023年3月期 実績		2024年3月期 予想		前期比	
	金 額	利益率	金 額	利益率	増減額	増減率
(単位：百万円)						
受注工事高	221,599	—	219,000	—	△2,599	△1.2%
売上高	209,474	—	211,000	—	+1,525	+0.7%
営業利益	9,075	4.3%	8,200	3.9%	△875	△9.7%
経常利益	10,477	5.0%	9,200	4.4%	△1,277	△12.2%
当期純利益	7,206	3.4%	6,300	3.0%	△906	△12.6%

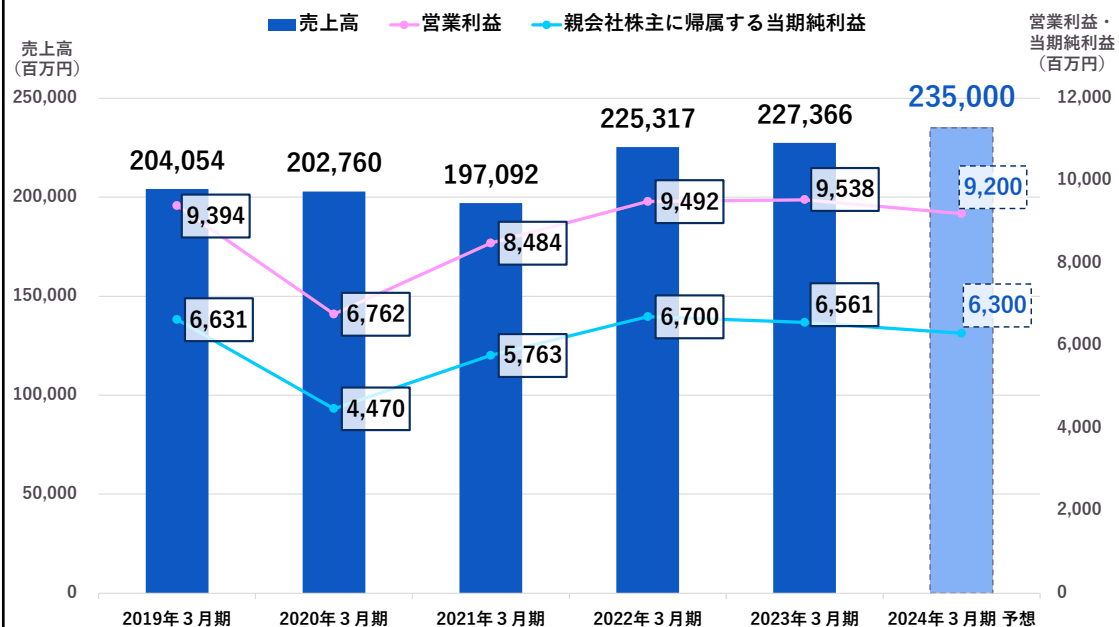
© 2023 Yurtec Corporation

16

- 2024年3月期通期の連結業績予想です。
- こちらについては、期首に公表した予想値から変更はありません。
- なお、17頁から21頁にかけて、連結・個別の業績推移および予想と、工事別の予想を記載しております。

(2) 業績の推移および予想[連結]

Yurtec



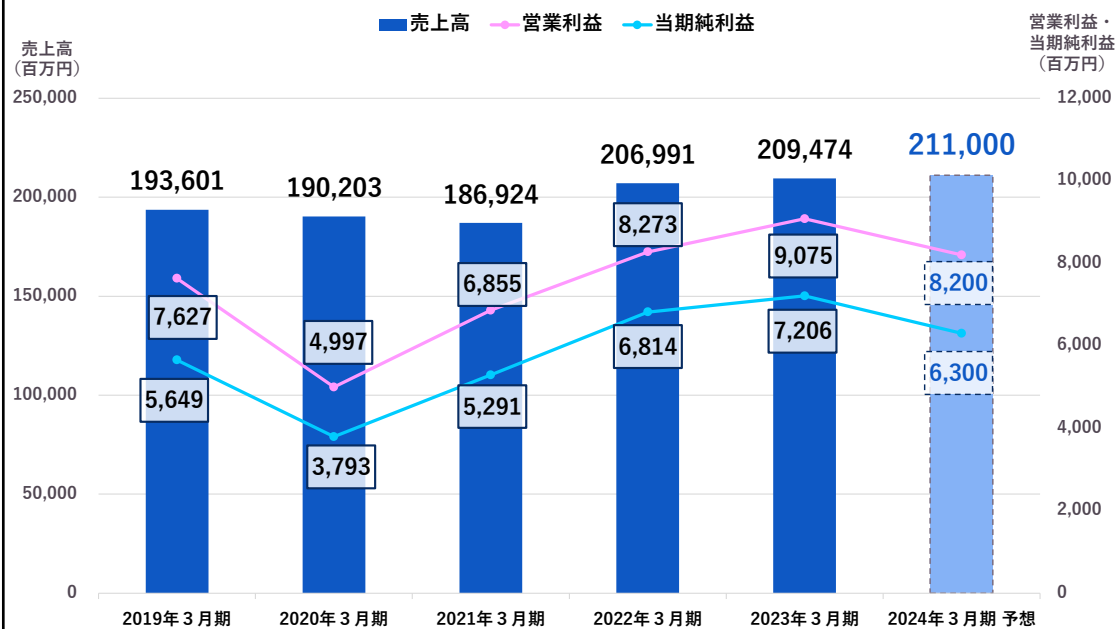
© 2023 Yurtec Corporation

17

説明省略

(3) 業績の推移および予想[個別]

Yurtec



© 2023 Yurtec Corporation

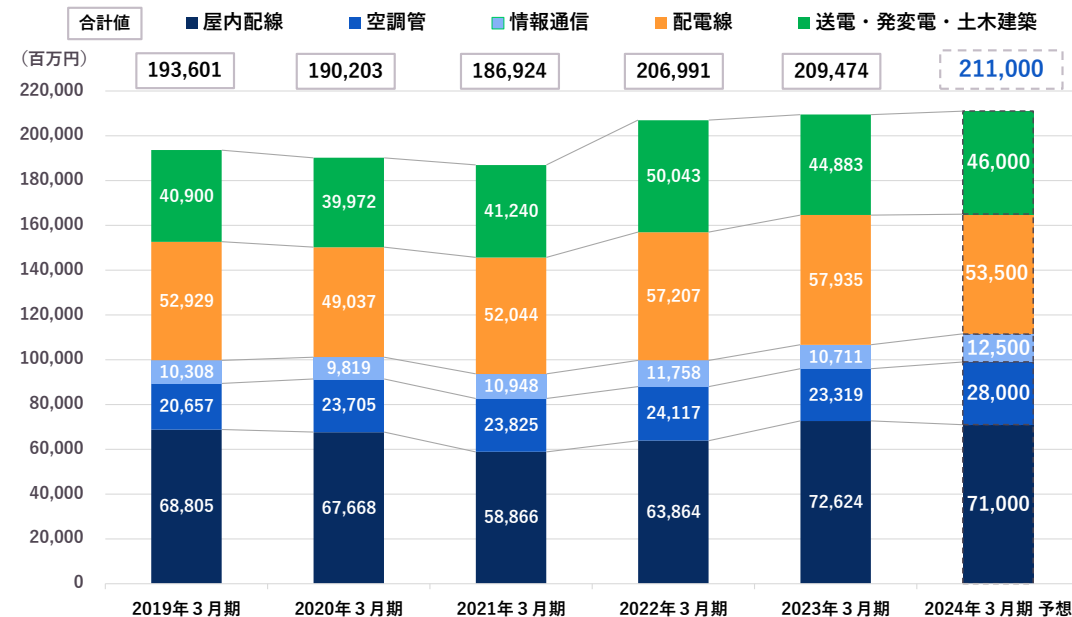
18

説明省略

（４）工事別売上高の推移および予想[個別]

Yurtec

売上高



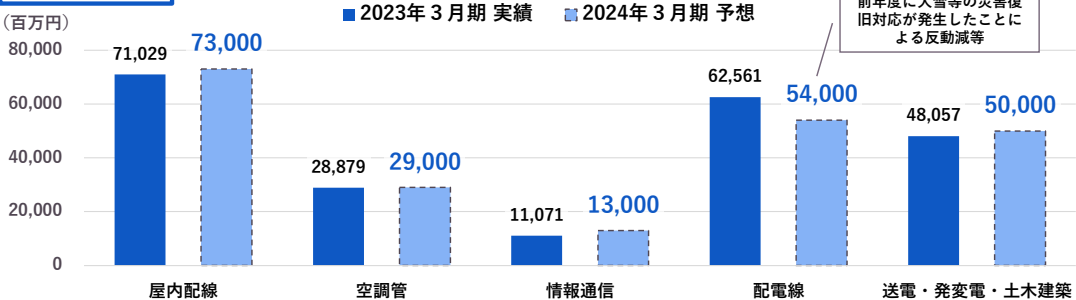
© 2023 Yurtec Corporation

19

説明省略

(5) 工事別受注工事高 予想[個別]

受注工事高



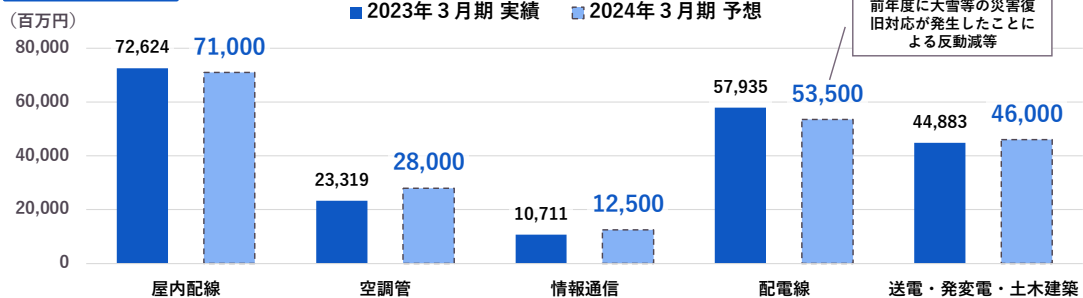
(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率
屋内配線	71,029	73,000	+1,970	+2.8%
空調管	28,879	29,000	+120	+0.4%
情報通信	11,071	13,000	+1,928	+17.4%
配電線	62,561	54,000	△8,561	△13.7%
送電	18,236	15,300	△2,936	△16.1%
発電電	13,686	14,100	+413	+3.0%
土木建築	16,133	20,600	+4,466	+27.7%
計	221,599	219,000	△2,599	△1.2%

説明省略

(6) 工事別売上高 予想[個別]



売上高



(単位：百万円)	2023年 3 月期	2024年 3 月期	前期比	
	実 績	予 想	増減額	増減率
屋内配線	72,624	71,000	△1,624	△2.2%
空調管	23,319	28,000	+4,680	+20.1%
情報通信	10,711	12,500	+1,788	+16.7%
配電線	57,935	53,500	△4,435	△7.7%
送 電	15,095	15,700	+604	+4.0%
発電電	12,062	13,000	+937	+7.8%
土木建築	17,725	17,300	△425	△2.4%
計	209,474	211,000	+1,525	+0.7%

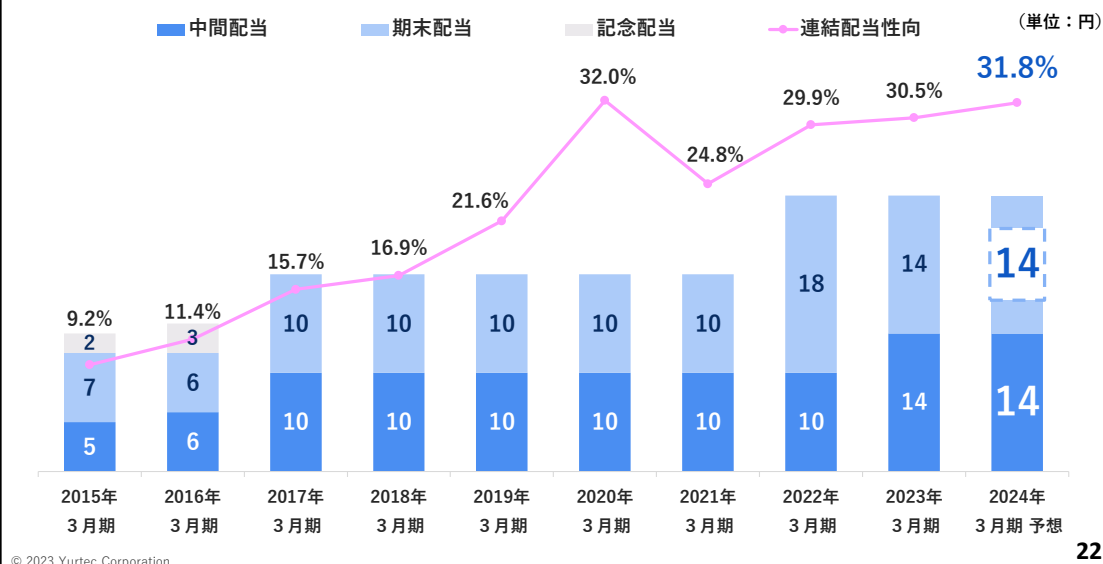
© 2023 Yurtec Corporation

説明省略

(7) 配当金の推移および予想

配当方針 (2021年12月14日公表)

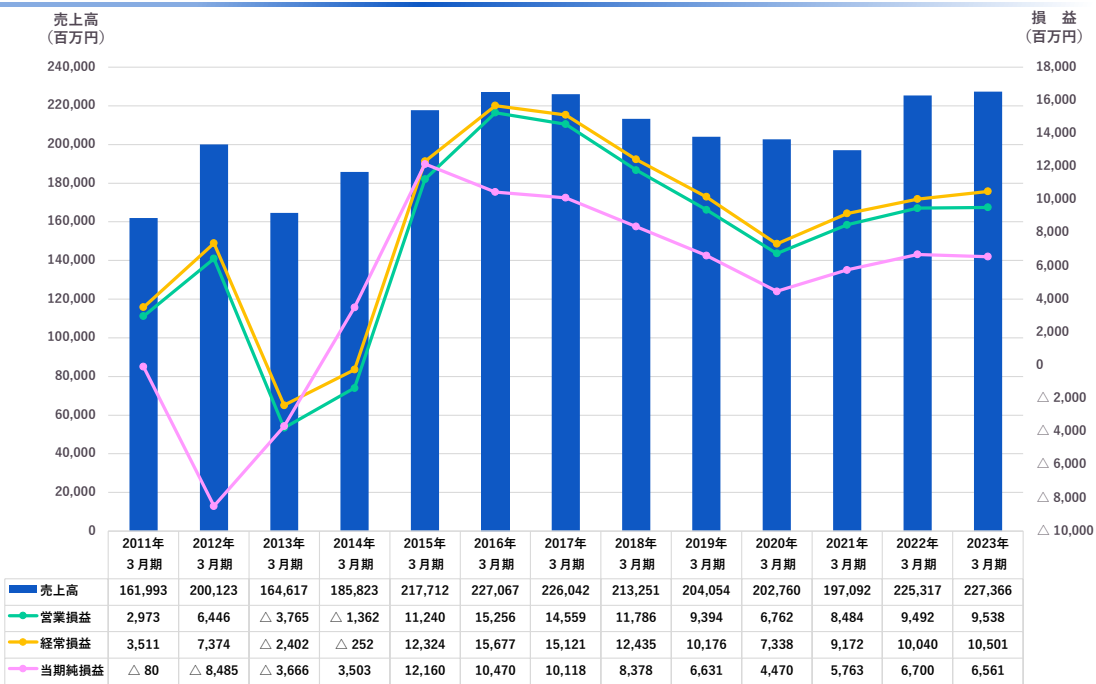
当社は、株主のみならずへの利益還元を経営上重要な施策として位置付けております。将来に向けた事業展開・成長のための内部留保とのバランスを考慮し、業績に応じ**連結配当性向30%**を目安に、1株当たり年間配当金24円を下回らない配当を行うことを基本方針としております。



22

- 近年の配当金の推移と当期末の配当金予想です。
- 当社は、業績に応じ連結配当性向30%を目安に、1株当たり年間配当金24円を下回らない配当を行うこととしております。
- この方針に基づき、2023年度の1株当たりの配当金につきましては、中間配当を14円としました。
- 期末配当につきましても同様に14円を予定しており、配当性向は、31.8%となる見込みです。
- 引き続き、利益還元を重視しつつ、将来に向けた事業展開・成長のための内部留保とのバランスを考慮し、株主還元を実施していきたいと考えております。
- なお、東証からの「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の要請については、現在、社内で鋭意対応を進めており、分析・評価の結果を可能な限り早期に開示できるよう努めてまいります。
- また、参考として、次頁に2011年3月期以降の連結業績推移を記載しております。

(参考) 業績の推移[連結]



© 2023 Yurtec Corporation

説明省略

03 中期経営計画の進捗状況

(1) 2023年度 中期経営計画

Yurtec

2021年度中期経営方針
(2021～2025年度)

能動的な行動と変革への挑戦で新たな時代を築く
～環境変化への適応とスピードある経営の実現～

成長戦略に基づく投資枠
2024年度までに300億円

定量目標 2025年度

[連結] 売上高 2,400億円／営業利益 120億円

2025年度 定量目標の達成

4つの力点

2023年度 中期経営計画に基づく主な施策

成長市場に注力

再エネ
工事の受注拡大

基幹送電網整備
工事の受注拡大

情報通信
工事の受注拡大

3つの基本戦略の推進

関東圏
での収益拡大

海外
事業の強化

リニューアル
営業の強化

事業基盤の構築・競争力の強化

成長戦略に基づく
積極的な**投資**

DX
の推進による収益拡大

成長を支える
人財の育成

力点1：グループ大での「安全・品質・信頼」の共有と実践

力点2：地域との信頼関係強化と事業環境変化への対応

力点3：成長分野への展開加速による企業価値の向上

力点4：成長を支える人財の育成と業務変革の継続

© 2023 Yurtec Corporation

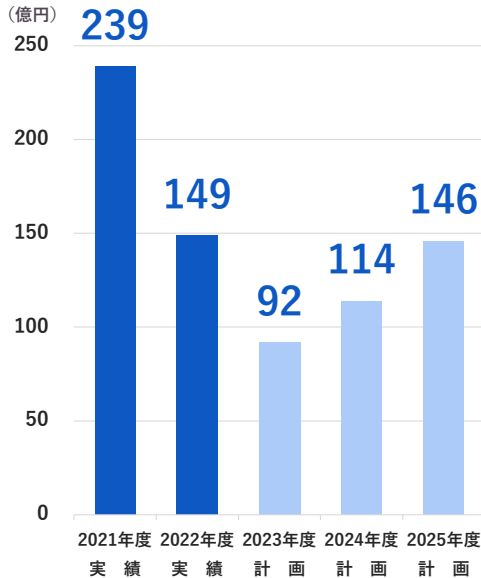
25

- 2021年度中期経営方針では、中期基本目標に「能動的な行動と変革への挑戦で新たな時代を築く」を掲げております。
- 成長に向けた諸課題に対し、一人ひとりが考え、能動的に行動するとともに、当社企業グループが一丸となり変革に挑戦し、スピード経営と総合力を発揮することで新たな時代を築いてまいります。
- また、成長戦略に基づく投資枠として「2024年度までに300億円」を設定し、優良案件への投資を進め、当社企業グループとして事業拡大をはかっていくとともに、2025年度定量目標である連結売上高2,400億円、連結営業利益120億円の達成に向け、諸施策に鋭意取り組んでまいります。
- なお、現在の中期経営計画では、ROEやROICといった資本効率に関する指標を設定していませんが、東証からの要請に対しては、社内で検討を進めているところであり、そのなかで指標の導入についても検討しているところです。
- それでは、2023年度中期経営計画に基づく主な施策として、「成長市場への注力」、「3つの基本戦略の推進」、「事業基盤の構築・競争力の強化」という観点から、直近の取り組み状況などをピックアップして紹介いたします。

(2) 再生可能エネルギー工事の受注拡大

再エネ工事の個別売上計画

(主な工事：屋内配線・送電・発電電・土木建築)



© 2023 Yurtec Corporation

■ 再エネ関連工事の市場動向

⇒ 国策として東北各地で洋上風力を中心に大型風力発電所の建設が計画

⇒ 資材費の高騰や円安が原因と思われる事業者の工事遅延、発注延期

⇒ 将来案件の調査・設計依頼は依然活発

■ 計画達成に向けた取り組み

⇒ 本年7月に再生可能エネルギー事業本部を設置

⇒ 再生可能エネルギー特有の自営線送電ルート調査や基本設計に対応できる要員の拡充・強化

⇒ 有利受注に向けた設計段階からの事業者への協力

風力：「地の利」を生かした受注獲得

太陽光：自家消費型太陽光発電設備の受注確保

再エネ関連工事の施工実績



二本松太陽光発電所（NRE）
（福島県）



八峰風力発電所
（秋田県）

26

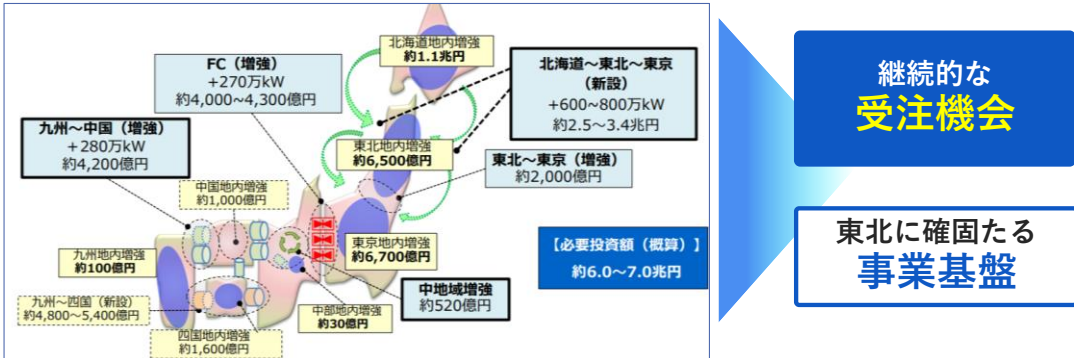
- 再生可能エネルギー関連工事の施策です。
- 資材費の高騰や円安などの影響から発注延期の動きがみられますが、将来案件の調査・設計依頼は依然活発であり、カーボンニュートラルの実現に向けて、今後の工事発注は活発になると予想しております。
- この機会を逸することなく確実に取り込むため、当社は、2023年7月に「再生可能エネルギー事業本部」を設置しました。
- 同本部を中心に、再生可能エネルギー特有の自営送電ルート調査や基本設計に対応できる要員の拡充・強化をはかるとともに、有利受注に向け、設計段階からの発電事業者への協力などにより、今後の受注拡大に努めてまいります。

(3) 基幹送電網整備工事の受注拡大

■ 本格化する基幹送電網の整備工事

- ⇒ 2050年カーボンニュートラルを見据え、国は次世代電力ネットワークに関する「広域連系系統のマスタープラン」を策定
- ⇒ 必要となる投資額は概算で約6兆円から7兆円
(東北地内では約**6,500億円**、東北～東京では約**2,000億円**の投資が必要との試算)
- ⇒ 東北に確固たる事業基盤を持ち、高い技術力を持つ当社にとっては、継続的な受注機会

■ 国が策定している送電網増強案

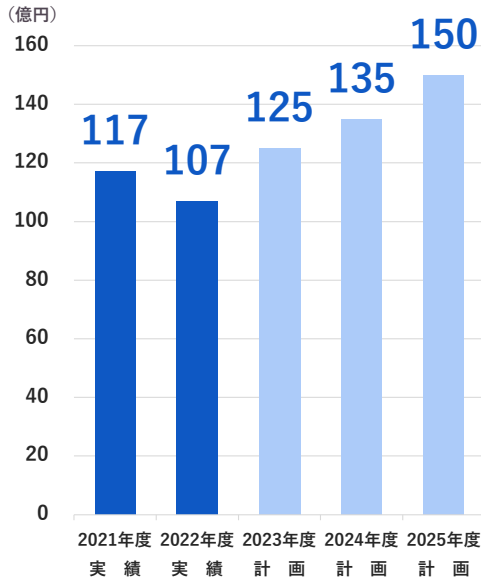


(出所) 経済産業省 資源エネルギー庁「電力ネットワークの次世代化について」[2023年6月27日] 4頁

- 基幹送電網整備工事の施策です。
- 当社の事業基盤である東北では、2050年カーボンニュートラルを見据え、送電網の増強に伴う大規模な設備投資が計画されており、当社としても「宮城丸森幹線新設工事、出羽幹線新設工事」など複数の工事を受注しており、この計画における直近の想定売上高は約100億円規模になるものと見込んでおります。
- 当社は、高い技術力に加え、東北に確固たる事業基盤を持っており、国の基幹送電網整備計画は継続的な受注機会になると考えています。
- 引き続き、国の動向や工事情報などを注視し、受注拡大を目指して積極的に取り組んでまいります。

(4) 情報通信工事の受注拡大

情報通信工事の個別売上計画 (主な工事：情報通信)



■ 移動体通信工事の市場動向

- ⇒ 国では「Beyond 5 G推進戦略」として、Beyond 5 G (6 G) の推進に取り組む
- ⇒ 基地局の数と密度は膨大になることが示されており、関連市場は今後も継続した成長が期待
- ⇒ 移動体通信事業者の 5 G 基地局建設工事の増加が見込まれる

■ 受注・施工体制の強化

- ⇒ 東京本部に情報通信工事を担う専門部署を設置し、移動体通信工事や官公庁物件などを受注
- ⇒ 移動体通信工事の施工・施工管理を一元管理する「モバイル通信工事センター」設置し、業務効率化
- ⇒ 屋内配線・空調管とあわせた情報通信工事（機器据付・ネットワーク構築含む）の営業展開による受注機会拡大

情報通信工事事例



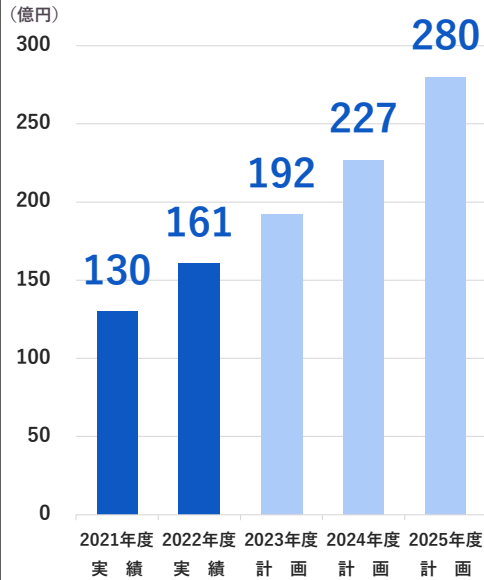
国道 CCTV (監視カメラ) 設置工事 (千葉県)

- 情報通信工事の施策です。
- 現時点では、通信事業者の事業環境の変化などにより発注が抑制傾向にありますが、あらゆる産業や社会活動の基盤となるインフラであることを踏まえれば、移動体通信工事は今後も増加していくことが見込まれます。
- 当社は、専門部署の設置などにより受注・施工体制の強化をはかっているところですが、屋内配線・空調管とあわせた情報通信工事の営業展開により、さらなる受注機会の拡大を目指してまいります。

(5) 関東圏での収益拡大

関東圏の個別売上計画

(主な工事：屋内配線・空調管・情報通信)



© 2023 Yurtec Corporation

■ 営業活動と施工体制を強化

- ⇒ 成長市場に強みを持つお客さまに対する営業強化
- ⇒ 屋内配線・空調管工事の一括受注や建築付帯通信設備工事などの受注拡大に向け施工体制を強化
- ⇒ 施工会社の協力会社化推進や請負会社の拡充など関東圏に拠点を置く企業との協力体制強化

■ 関東圏の旺盛な建設需要による市場ポジションの獲得機会

- ⇒ 首都圏の大型再開発事業やコロナ禍で需要が拡大した大型物流施設が引き続き増加傾向にあるなど当面は堅調に推移する見通し
- ⇒ 売上高拡大に対応するため、全社的な要員数・配置の見直しをはかる

29

- 関東圏での施策です。
- 関東圏は、コロナ禍や物流業界に適用される時間外労働の上限規制を見据えて需要が拡大した大型物流施設、首都圏の大型再開発事業など、旺盛な建設需要があることから、当面は堅調に推移する見通しです。
- 引き続き、営業活動・施工体制を強化し、収益の拡大に努めてまいります。

(参考) 関東圏における近年の主な施工実績

Yurtec

屋内配線工事



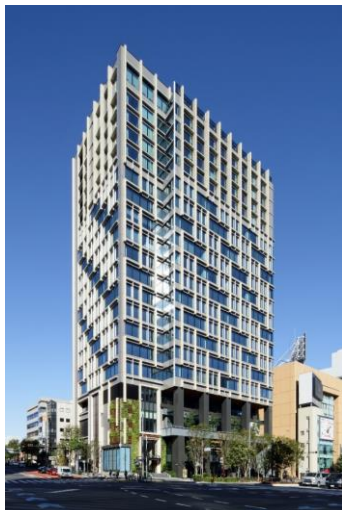
大手町フィナンシャルシティ
グランキューブ (東京都)



屋内配線工事



the ARGYLE aoyama (東京都)



空調管工事



MFLPプロロジスパーク川越 (埼玉県)



屋内配線工事



栃木県総合運動公園陸上競技場 (栃木県)

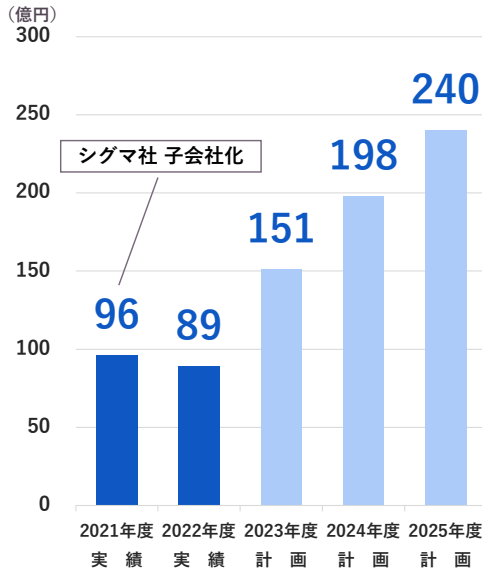


- こちらは、関東圏における近年の主な施工実績を記載しております。

(6) 海外事業の強化

海外の個別売上計画

(主な工事：屋内配線・空調管・再生エネ関連)



© 2023 Yurtec Corporation

■ コロナ禍からの建設需要回復が見込まれるベトナム国

⇒ 連結子会社「SIGMA ENGINEERING JSC (シグマ社)」を中心に、大型ホテルや複合ビル案件の屋内配線・空調管工事および再生可能エネルギー関連工事の受注拡大に取り組む

■ 日本国政府によるODA案件

⇒ 送配電網整備工事など社会インフラ整備事業を通じた東南アジア・アフリカなどへのODA案件の受注拡大に取り組む

■ バングラデシュ国での施工体制構築

⇒ 初の日系工業団地開所に伴い、インフラ施設の建設および民間投資の増加が見込まれる同国において早期の施工体制構築を目指す



セネガル国におけるODA案件の様子

31

- 海外事業に関する施策です。
- コロナ禍からの建設需要回復が見込まれるベトナムにおいては、2021年6月に完全子会社化した「シグマ社」を中心に、大型ホテルや複合ビル案件の屋内配線・空調管工事、再生可能エネルギー関連工事などの受注拡大に取り組んでいます。
- 日本政府によるODA案件では、ケニアにおいて総事業費数十億円規模の配電設備の整備計画を受注しました。
- 2023年内にも現地での工事をスタートし、2025年初めの完了引き渡しを予定しております。
- この計画により、約1万世帯が新たに電気を利用できるようになり、首都ナイロビと電気の通っていない地域の格差解消がはかれるとともに、電気設備事業者への技術継承も行ってまいります。
- さらに、2023年、初の日系工業団地ができたバングラデシュにおいては、インフラ施設の建設や民間投資の増加が見込まれますので、早期の施工体制構築を目指してまいります。

(参考) 海外における近年の主な施工実績

ユアテックベトナム施工

ホテル・ニッコー・ハイフォン
ロイジェント・パークス・ハイフォン
(ベトナム ハイフォン市)



タイビン火力発電所
(ベトナム タイビン省)



ノイバイ国際空港第2ターミナル (ベトナム
ハノイ市)



シグマ社施工

ソクチャン7洋上風力発電所
(ベトナム ソクチャン省)



ミカヅキスパ&ホテルリゾート
(ベトナム ダナン市)



MIPECスポーツセンター
(ベトナム ハノイ市)

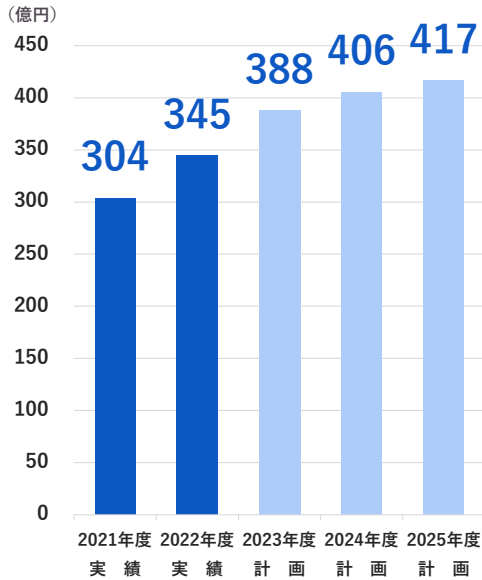


- こちらは、海外における近年の主な施工実績を掲載しております。
- 左下の写真は、シグマ社がEPC契約で手掛けた「ソクチャン7 洋上風力発電所」です。
- 当社社長も間近で施工状況を確認し、同社の技術力、安全・施工品質の高さを実感しています。
- 次に、その右隣りの写真は、2023年6月、将棋の棋聖戦で、藤井聡太八冠と佐々木大地七段が対戦した際の試合会場となった五つ星高級リゾートホテル「ミカヅキスパ&ホテルリゾート」です。屋内配線・空調管工事とも同社が施工しました。
- 引き続き、同社を中心に受注拡大をはかっていきたいと考えております。

(7) リニューアル営業の強化

Yurtec

リニューアル工事の個別売上計画 (主な工事：屋内配線・空調管)



■ 過去の工事実績を踏まえた積極的な提案活動と受注拡大

- ⇒ 東北エリアの人口減少に伴い、将来的に見込まれる新築物件の減少
- ⇒ リニューアル営業の強化により受注拡大を目指す

■ カーボンニュートラルへの社会的要請による省エネ・ZEB※市場の拡大 ※ ネット・ゼロ・エネルギー・ビル の略称

- ⇒ 気候変動問題に対する世界的な関心の高まり、これを受けた企業のカーボンニュートラルに向けた取り組み
- ⇒ 2022年「ZEBプランナー制度」、「ZEBリーディング・オーナー制度」登録
- ⇒ 自社事業所へのZEB導入で得た知見をもとにお客さまへの省エネ・ZEB化推進の提案

本年5月に新築移転した当社大船渡営業所が「ZEB Ready※」を取得

※再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物

自社への導入事例



大船渡営業所 外観

33

- リニューアル営業の施策です。
- カーボンニュートラルに向けた取り組みが加速するなかで、当社は、建物で消費する年間のエネルギー収支をゼロにすることを目指したZEBのコンサルティング・設計などの業務支援を行う「ZEBプランナー」制度に加え、自らのZEB普及目標などを一般に公表する「ZEBリーディング・オーナー」制度へそれぞれ登録しました。
- さらには、自社事業所へのZEB導入で得た知見をもとに、お客さまへの省エネ・ZEB化推進の提案により、CO₂削減に貢献しながら、リニューアル工事の受注拡大をはかってまいります。

(8) 成長戦略に基づく積極的な投資

- 既存事業の強化に向けた投資を最優先に進めつつ、新たな領域の開拓等も視野に入れ、ユアテック企業グループとして事業拡大をはかる
- ⇒ ベトナム国においては、2021年に完全子会社したシグマ社を中心に、複合ビルなどの大型物件が順調に進捗し、当期2Qでは前年同期を上回る実績
- ⇒ 引き続き、M&Aによる投資枠の活用を中心に、資本業務提携や事業・プロジェクトへの出資参画などを幅広く検討



© 2023 Yurtec Corporation

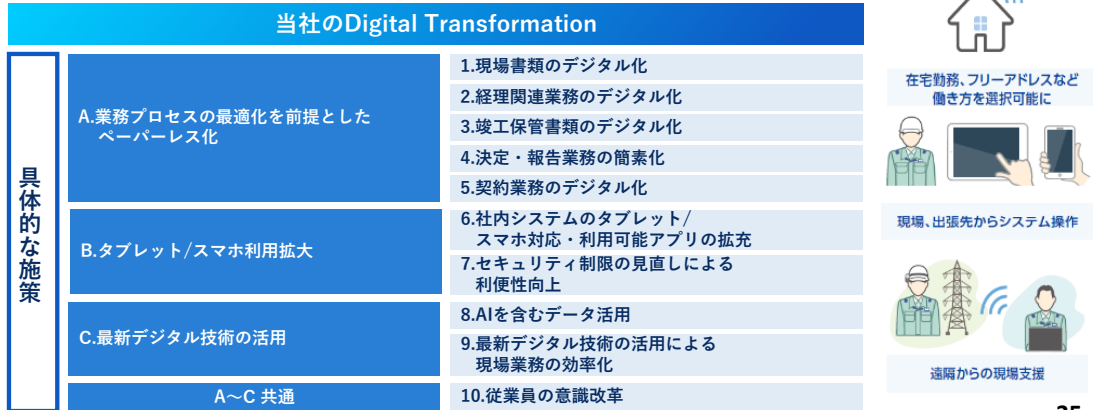
34

- 成長戦略に基づく投資に関する施策です。
- 2020年度中期経営方針より「成長戦略に基づく投資枠300億円」を設定し、事業基盤の強化をはかっております。
- このうち、2021年に完全子会社化した「シグマ社」につきましては、複合ビルなどの大型物件が順調に進捗し、前年同期を上回る実績となっています。
- 引き続き、M&Aによる投資枠の活用を中心に、資本業務提携や事業・プロジェクトへの出資参画などを幅広く検討し、事業拡大をはかってまいります。

(9) DXの推進による収益拡大

■ 社長を委員長とするDX推進委員会およびIT戦略に係る専門組織の設置

- ⇒ ツールやシステム導入による業務削減時間の想定
2025年度で約248,000時間の削減、人件費への単純換算で約11億1,000万円の削減効果
- ⇒ 生成AIの導入による現場負担の軽減について検討
- ⇒ 社内システムのタブレット・スマホ対応と利用可能アプリの拡充
- ⇒ 紙削減枚数の試算
2022年5月の調査枚数を基準とし、2025年度末で64.2%の削減率



© 2023 Yurtec Corporation

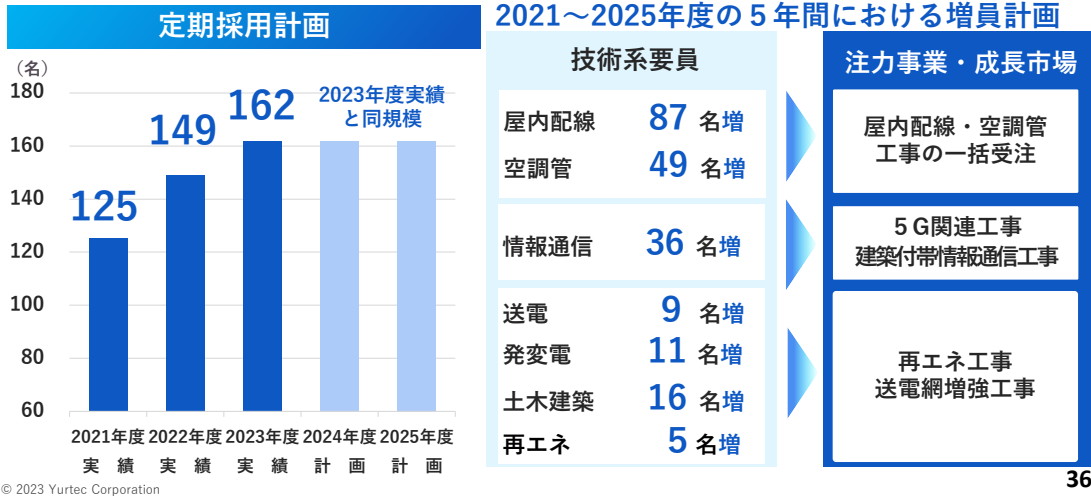
35

- DXに関する施策です。
- DX推進委員会およびIT戦略に係る専門組織のもと、3つのテーマと10の施策を強力に進めております。
- 直近に試算した想定効果では、ツールやシステム導入により、2025年度に約24万8千時間の業務時間削減を見込んでおります。
- また、生成AIの活用による現場負担の軽減などについても検討しております。

(10) 成長を支える人財の育成

■ ユアテックの財産は人財

- ⇒ 新たな人財戦略の検討、立案を行う組織として「人財戦略プロジェクト」を設置
- ⇒ 定期・経験者採用、再雇用制度のあり方、評価制度や報酬の面なども含めた人事諸制度全般にわたる検討
- ⇒ 2024年問題（建設業への時間外労働の上限規制適用）や施工力不足に対応する各施策へ反映し、中長期的な成長を支える人財を確保



- 成長を支える人財の育成に関する施策です。
- 2023年7月、新たな人財戦略の検討、立案を行う組織として「人財戦略プロジェクト」を設置し、定期・経験者採用、再雇用制度のあり方、評価制度や報酬の面なども含めた人事諸制度全般にわたる検討を進めております。
- 2024年4月には、建設業への時間外労働の上限規制適用が迫っていること、さらには、業界全体として施工力不足が喫緊の課題となっていることから、各種施策へ反映し、中長期的な成長を支える人財を確保してまいります。

(11) サステナビリティへの取り組み

■ 東北電力グループサステナビリティ方針に基づき、環境への配慮、安全の確保、企業倫理・法令遵守など、ESG経営、サステナビリティを推進

⇒ 中期経営方針に基づく各種施策を通じて、SDGsの達成に貢献

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

⇒ 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言へ賛同、情報開示を実施

TCFD

⇒ サステナビリティに関わる方針、重要課題、PDCAにかかる審議などを行う「サステナビリティ委員会」を10/1に設置し、サステナビリティへの取り組みを積極的に推進

東北電力グループサステナビリティ重要課題		ユアテックグループの主な取り組み	関連するSDGs
E 環境	カーボンニュートラルへの挑戦	■再生可能エネルギー関連工事 ■環境配慮型設備の提案 ■事業所新築時におけるZEB化の推進 ■社有車の順次EV化の推進	7, 9, 13
	循環型社会の形成	■環境方針に基づいた環境負荷低減に向けた事業活動の展開 ■伐採木のチップ加工による再生利用 ■清涼飲料水の製造・販売・宅配事業におけるウォーターボトル・ボトルキャップおよびウォーターサーバーのリサイクル	7, 12, 13, 14, 15
S 社会	快適・安全・安心な暮らしと地域社会の実現	■地域における社会課題の解決や地域活性化への貢献等の「よりそう」取り組み【主な活動】非常災害対策用備蓄食料のフードバンクへの寄贈 公衆街路灯の寄贈や風所作業車を活用した信号機の清掃活動 ■海外インフラODA案件の積極的な取り組み	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
	レジリエントな社会インフラの構築	■設備工事を通じた電力の安定供給、災害対応力の強化への寄与	7, 9, 11, 13, 15
	多様な人材がいきいきと働く職場作り	■ダイバーシティの推進（女性活躍、障害者雇用、男性の出生時育児休暇等、育児に関する休暇取得） ■生活習慣病予防対策を始めた健康経営の推進 ■効率化・生産性向上に向けた抜本的な業務見直しとDXの推進	3, 4, 5, 8
G ガバナンス	様々なステークホルダーの人権尊重	■差別・ハラスメントの防止 ■グループ一体となった労働安全確保に向けた安全文化のさらなる向上	3, 8, 10, 16
	健全で透明性のある企業経営	■企業倫理・法令遵守の徹底 ■「コーポレートガバナンス基本方針」に基づくガバナンス体制の充実強化	10

© 2023 Yurtec Corporation

37

- サステナビリティへの取り組みです。
- 長期的企業活動に必要なサステナビリティへの取り組みを強化していくため、2023年10月、サステナビリティに関する社会的動向を把握・分析する専門組織を設置するとともに、「サステナビリティ委員会」を設置しました。
- これにより、サステナビリティへの取り組みをさらに推進し、中長期的な企業価値の向上に加え、持続可能な社会の実現をはかってまいります。

04 ご参考

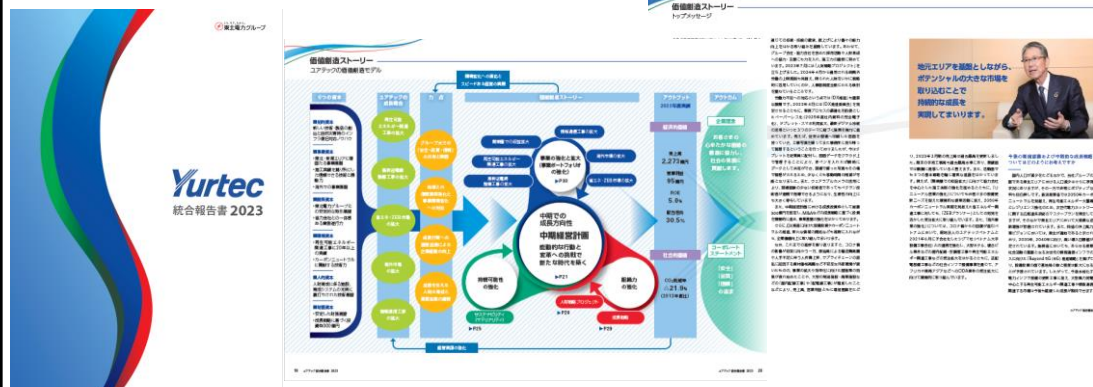
(1) 「ユアテック統合報告書 2023」を発行



■ 10/30に当社初となる統合報告書を発行

- ⇒ 当社事業の全体像、特長や経営戦略の方向性、成長機会やリスクなどの非財務情報を充実させることで、当社が目指す中長期的な価値創造の理解促進をはかっている
- ⇒ 本統合報告書は、当社ホームページのIR情報にて公開

[統合報告書 | IR情報 | ユアテック 東北電力グループ \(yurtec.co.jp\)](https://yurtec.co.jp)



© 2023 Yurtec Corporation

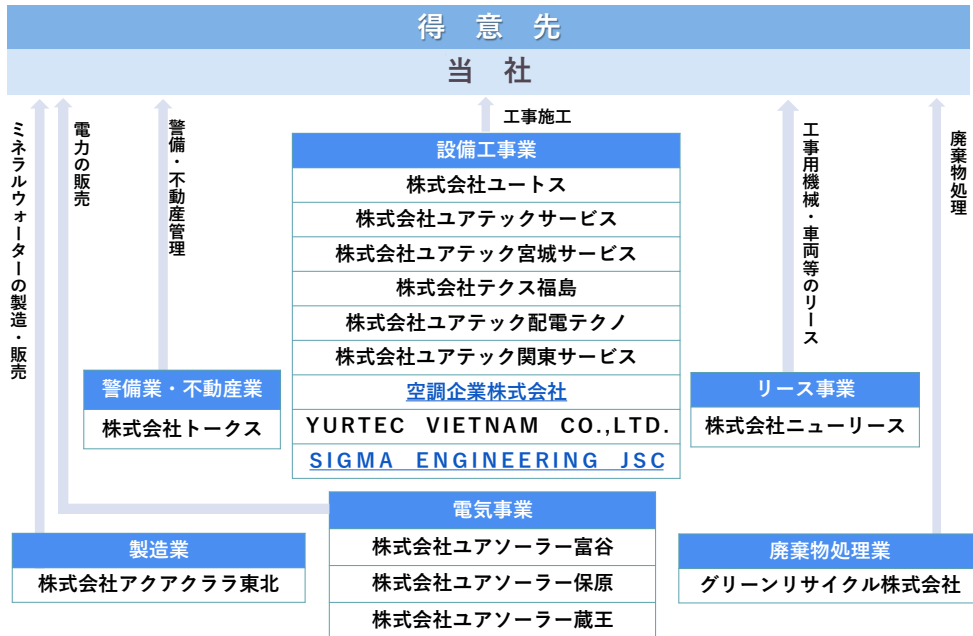
39

- これまで当社は、決算情報などの財務情報を中心に開示を行ってまいりましたが、開示内容を充実させることで、当社をより深くご理解いただくため、今般、初となる統合報告書を発行いたしました。
- 当社事業の全体像をご理解いただくとともに、特長や経営戦略の方向性、成長機会やリスクなどの非財務情報の充実を図ることで、当社が目指す中長期的な価値創造を分かりやすくお伝えできるよう努めました。
- 本統合報告書は、当社ホームページに掲載しておりますので、ぜひともご覧ください。
- 今後も、本報告書をはじめとする情報開示の充実により、ステークホルダーの皆さまとの対話促進をはかり、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

(2) ユアテック企業グループ



連結子会社 計16社



© 2023 Yurtec Corporation

40

説明省略

(3) 成長戦略に基づく投資枠によるM&A

Yurtec

(開示時データ)		 空調企業株式会社
商 号	SIGMA ENGINEERING JSC (シグマ社)	空調企業株式会社
所在地	ベトナム国ハノイ市	宮城県仙台市
会社設立	2005年1月	1975年8月
資本金	160,000百万ベトナムドン	40百万円
従業員数	867名	38名
事業内容	電気設備工事、空調和設備工事、給排水衛生設備工事、消防設備 等	冷暖房設備工事および関連設備メンテナンス、空調機器類の販売 等
売上高	2019年12月期 1,860,000百万ベトナムドン (約8,460百万円)	2019年7月期 1,040百万円
持株比率(連結)	100% (2021年6月子会社化)	100% (2020年9月子会社化)
株式取得の目的	■ ベトナム国内の成長市場を取り込む ■ YURTEC VIETNAM CO.,LTD.との相乗効果により受注機会の拡大およびオペレーションの効率化	■ 施工体制の強化 ■ 営業面で相乗効果

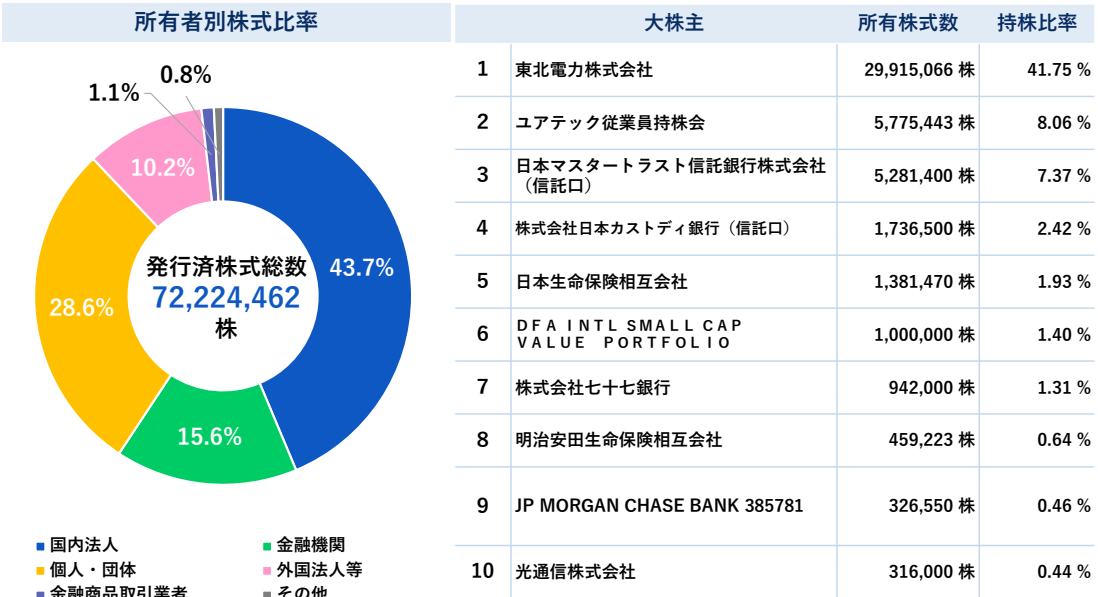
© 2023 Yurtec Corporation

41

説明省略

(4) 株式の状況

(2023年 9 月末現在)



(注) 自己株式は、「その他」に含めております。

(注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 (565,736株) を控除し、計算しております。
また、自己株式は、上記大株主から除外しております。

説明省略

企業理念

ユアテックは
お客さまの心ゆたかな価値の創造に協力し、
社会の発展に貢献します。



将来の見通しに関するご注意事項

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【当社ホームページ（IR情報）】
<http://www.yurtec.co.jp/ir/>

【本資料に関するお問い合わせ先】
株式会社ユアテック
宮城県仙台市宮城野区榴岡4-1-1
TEL：022-296-2111（代表）
担当：総務部法務室（株式）

仙台市が所有し、プロサッカーチームベガルタ仙台のホームスタジアムとなっているスタジアムのネーミングライツを2006年3月1日に取得し、名称を「ユアテックスタジアム仙台（略称：ユアスタ仙台）」としております。

© 2023 Yurtec Corporation

44